

**平成25年度第1回魚沼市小出郷文化会館 管理業務民間委託
市民・行政協働検討会議 会議録**

平成25年8月6日（火） 19:30～21:30
魚沼市小出郷文化会館会議室・かまくらサロン

委員

出欠	所属	氏名	出欠	所属	氏名
<input type="checkbox"/>	関 良 則	魚沼文化ビジョン21事業 推進委員会委員長	<input type="checkbox"/>	渡 部 弥一郎	堀之内連合自治会長
<input type="checkbox"/>	田 中 恵美子	〃 副委員長	<input type="checkbox"/>	大 平 二 郎	千溝区長
■	アナボヌ実砂子	魚沼市小出郷文化会館 企画運営委員会副委員長	<input type="checkbox"/>	丸 山 隆 志	湯之谷地区自治会長 連絡協議会長
<input type="checkbox"/>	平 井 正 尚	魚沼市まちづくり委員会 会長	■	山之内 喜 七	広神地区区長会会長
<input type="checkbox"/>	上 田 眞 蔵	魚沼市小出郷文化会館 友の会会長	<input type="checkbox"/>	大 塚 秀 治	守門地区区長会会長
			<input type="checkbox"/>	浅 井 稔	入広瀬区長会会長

事務局

出欠	所属	氏名
<input type="checkbox"/>	星 正太郎	魚沼市市民課長
<input type="checkbox"/>	桜井 俊幸	魚沼市小出郷文化会館館長
<input type="checkbox"/>	八海 昭夫	魚沼市市民課文化振興室長
<input type="checkbox"/>	吉田 元	魚沼市文化振興室係長
<input type="checkbox"/>	榎本 広樹	魚沼市市民課文化振興室主任

< 出席 欠席 >

1 開 会

2 あいさつ

星課長

本日はお疲れのところ、またご多忙の中お集まりいただきありがとうございます。

私、この4月より市民課長を拝命している星と申します。よろしく願いいたします。

まず、今回の小出郷文化会館管理業務民間委託に関する市民・行政協働検討会を立ち上げるに至った経緯を簡単にご説明いたします。今回、委員の委嘱をお願いしている皆様ですが、まちづくり委員会より平井会長においでいただいている他、これまで会館業務に関わってこられた各団体の皆様、また市民目線でご意見を伺いたいということで、自治会長様よりおいでいただいています。

皆様ご存知かと思いますが、魚沼市は合併後10年を迎えようとする中、行政の効率化とスリム化を図り、合併特例債の期限切れ、交付税の減少等による財政危機を乗り切るべく、行財政改革に取り組んでいます。

その取り組みの一環として、平成22年8月に、第二次魚沼市集中改革プランの個別検討項目として、文化会館業務の民間委託が挙げられました。これを受け、この件について内部

関係部署による検討会議を重ね、多くの市民が参画・協働できる管理運営方法を導入する、という基本的な考え方がまとめられています。

これから皆様には、会館の管理業務について、市民の主体性を活かした管理運営方式の導入、委託のあり方や民間委託する場合に配慮すべき事などについて、幅広くご意見を伺いたいと存じます。特に自治会長の皆様におかれましては、会館に関わりがなければならぬ、一般市民目線での考えをお聞かせいただければ、と願っております。

皆様から伺ったご意見については、委託に関する基本計画に盛り込んで、内部での検討会と本市民検討会議とをキャッチボールする感覚で、計画を練り上げていきたいと考えております。計画内容については、今後の会議の中でご審議いただきたい、と考えております。

スケジュール的には、年内に基本計画をまとめたいと考えているので、少しタイトになっていくかと思いますが、魚沼市の文化と伝統をどのように守り、推し進めるかにも繋がってまいります。誠に勝手を申し恐縮ですが、なにとぞご協力いただきますようお願いいたします。

3 委員紹介・事務局紹介

各委員・事務局員による自己紹介

事務局 この会議を第3者に公開するか、マスコミに公開するか、会議録の公開をするか、その会議録は匿名とするか、委員名簿は公開してよいか、皆様のご意見をいただきたい。

委員 全て公開で良いと思う。

事務局 会議は公開、議事録も公開、ただし発言者名は非公開、委員名簿は公開ということで良いか。(異論なし)

4 正副委員長の選任

委員長に関委員、副委員長に平井委員を選任

5 説明

委員 設置要綱に書いていないが、この会の検討の結論は「答申」ということになるのか。

事務局 この会で出された意見は、市役所内部での検討会議との間で議論をキャッチボールしていきたい。計画書の内容に、皆様の意見を肉付けしていただく。最終的には、内部検討会で計画をまとめ起案する形になる。間接的に皆さんの意見を上げることになるので、答申という形にはならない。

委員 年内に基本計画をまとめたいということだが、こういった形で意見を言う機会はあるのか。

事務局 皆さんの要望があれば次回も時間を割きたいが、日程がタイトなので、できれば次のステップに進みたい。

委員 そうすると、今日が主となる私たちの意見が重きをなす。それとも無視することになるのか。

事務局 本日の意見を持ち帰り、計画の中に肉付けをし、再度皆さんから審議いただく。今後はフリーなトークではなく、計画書を煮詰めるためのトークになる。

委員 もっと話をしたいということであれば時間を取っていただけるのか。どの段階から話をするのか、過去を忘れて話をするのか。これまで自分がやってきたことによるのか、新たな意見を聞いて判断するのか。どの立場で臨むのか難しい。

事務局 この後班別に分かれ自由な立場で発言いただき、その内容で肉付けをするので、その部分についてまたご意見をいただき、進めていきたい。

委員 管理業務の民間委託をするということは、結論か。

事務局 集中改革プランではそうなっているが、委員全員がそれはダメだということになったらそれを踏まえていかなければならない。どうすれば一番いい形になるかは、皆さんから議論いただかなければならない。

委員 オブザーバーの皆さんとも直接話し合う機会を設けてもらいたい。

事務局 今後検討させていただきたい。

委員 任期はいつまでか。

事務局 平成26年3月末である。基本計画の策定から、実施に至るまでを見てもらいたい。

委員 今、話されている内容が全くわからない。これまで関わってきた人はいいが、そうでない人が参加できるように、情報を与えてもらいたい。

委員 民間委託がテーマなのか、よりよい運営を考えるのがテーマなのか。民間委託であれば、良い悪いの話ができるが。

事務局 指定管理にもいろいろな要点があるので、そこにご意見をいただいて計画に盛り込んでいきたい。そこに、これまで文化会館にいらしていなかった方の視点、意見が聞きたいのです。

(1) 検討会議の進め方について

事務局から、資料に基づいて説明あり。

(2) 文化会館の成り立ち、現在の事業等について

事務局から、資料に基づいて説明あり。

【質疑応答】

委員 管理費も事業費も支出の方が多い。国からの助成金も限られている中で、民間委託に出して大丈夫なのか。

事務局 管理費は施設維持に必要な経費で、市が指定管理団体に出さなければならないものと考えられる。

委員 市が運営していれば税金で補てんするという事だろうが、民間委託に出せば、営利に走ら

ざるを得ないのではないかと心配。遠くから見ていると、有名な人を呼んで来たり、すごいことをやっている感がある。金がなければ良い運営はできない。市の民間委託に向けた計画を見ないと、どんな良いことが話されても、絵物語に終わってしまう。

事務局 正にそういう意見もぜひ出していただきたい。民間委託するにしても、どういう形でしていくと良いのか、詰めていきたい。

6 班別協議（A班、B班の2班に分かれて、ワークショップ開始）

(1) これまでの文化会館、文化事業とのかかわり

(2) 現在の文化会館、文化振興事業の問題点

(3) 今後の文化会館のあり方、事業の持ち方

(4) その他、文化会館に対する自分の思いなど

委員 A班で話されたことを発表します。

- ・友の会は会員 300 人から頭打ちで増えない。入会するのに、敷居が高いという意識があるが、やめていく人もいない。
- ・プログラムが多すぎる。効率性を考えるべき。
- ・一つの飽和点に達していると思う。
- ・交通手段の問題は解決していない。
- ・市民の目線を引き続ける方策が必要。
- ・公民館と同じレベルでの使用が考えられないか。
- ・足を運んでいただくための工夫が必要。
- ・経費の縮減は大事である。
- ・スクラップ&ビルドが必要だが、「火」は絶やさないでほしい。

委員 B班で話されたことを発表します。

- ・音楽が好きだが、一度も入場したことがない。
- ・穴沢ふれあい館でサロン・コンサートを開催して頂いてうれしい。
- ・水彩画を楽しむ会に入っている。
- ・企画運営委員として 15 年、関わってきた。地域ごとに文化は異なるが、そのこともこの会館での活動を通じて知った。
- ・一般市民のニーズに合う事業を多くしてほしい。
- ・ハード面は多額の経費がかかっている。ソフト面では職員数が減少して、健康面が心配だ。財政面では、文化はもともとお金にならないことを、市全体から理解してもらいたい。
- ・民間委託にした場合、市がバックアップを保障するのであれば、専門の人が長く携わって良い運営ができるだろう。金がなくなると、質が低下するのではないか。
- ・市民が使用するのが大事だが、それだと金にはならないか・・・。
- ・民間委託の受け手を、魚沼のことをよくわかった人にするべき。魚沼の文化をよくわかって

いる人にやってほしい。

- ・基本コンセプトは変えず、魚沼市を代表する施設であってほしい。
- ・民間委託の計画を、市からきちんと出していただいて検討しないといけない。今、実際にすごいことが行なわれている。その質を落とさず、進めていくために、市の計画を見て考えたい。
- ・計画を見て、具体的に考えたい。
- ・文化会館の名称がなぜ「小出郷」なのか。魚沼市立ではいけないのか。合併協で「当面このまま」となったために現在に来ているが、アンケートでもなぜ「小出郷」なのか、という声はある。
- ・すばらしい活動をこれまでやってきていて、びっくりした。
- ・建議書を資料として出してほしい。
- ・この会議のテーマ、方向性を出してほしい。議論がピンボケにならないようにしたい。

7 その他

- ・次回の会議日程について

9月6日（金）午後7時から 魚沼市小出郷文化会館会議室及びかまくらサロン

事務局 本日ここで頂いたご意見、お示ししていない資料を事前配布するので、ご覧いただきたい。

8 閉 会